

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度第3回サービス向上部会

開催日時 令和7年10月22日(水)10:00~11:30

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市社協指定訪問介護事業所、飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき、山ノ内町社協指定訪問介護事業所、木島平村社協指定訪問介護事業所、野沢温泉村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、北信圏域障害者生活支援センター、相談支援事業所たむろ、訪問介護たむろ、未来工房つむぎ、青りんご、いこいの里、ケアホーム希望、のぞみの郷高社、NPO 法人ここから、常岩の里ながみね、傳習館、一般社団法人きぼう、中野市障がい児者相談支援事業所ふたば、むぎとはな、ながでんハートネット中野ポルカ、ながでんハートネットメゾふおるて、ひふみ中野たかおか教室、ひふみ信州中野教室、ながでんハートネットカラー's 中野、北信圏域障害者生活支援センター、児童発達支援センターみらいく、北信圏域障害者総合相談支援センター

会議で話し合われた事項

1. 開会

2. 議題

(1) 他部会の活動状況の共有

権利擁護部会より、各市町村虐待防止センターにおける事例共有の報告があった。

その中で、

○グループホームで発生した虐待認定事例

○世話人による不適切対応の事例

が取り上げられ、支援員以外の職種に対する虐待防止研修体制の整備や役割認識の明確化の必要性について意見が出されました。

(2) 若手職員向け研修会の開催について

部会長より、研修会の目的が共有されました。

【目的】

○入職1~3年目の若手職員を対象とする

○現場での悩みや不安を安心して語れる場の提供

○地域内ネットワークの構築

また、研修で得られた意見を今後の部会活動や管理職向け研修へ反映していく方針が示された。

(3) 児童発達支援ネットワークより

北信圏域内の障害児福祉サービス事業所一覧表の完成を報告。今後、関係機関への配布と活用促進を進めていくことが確認された。

(4) ワーキンググループ (WG) 活動報告

① 居宅介護分野 WG

○圏域独自のアセスメントシート（案）の作成に向けて検討を行った。現場での試行活用を経て修正・完成予定とした。

○介護支援専門員と相談支援専門員の役割の違いによる連携や介護保険への移行時の課題について意見交換が行われた。

② 生活支援力向上 WG

各事業所における虐待防止委員会の機能状況について共有が行われた。

主な意見：

○委員会設置は義務化されているが、十分に機能していない場合がある

○伝達研修が資料回覧にとどまっている事例がある

○身体拘束の確認やテーマ設定を工夫して取り組んでいる事業所もある

○職員の心理的・身体的負担への配慮も重要

特に、グループホームにおいては、支援員・世話人を問わず、役割認識と研修体制の強化が必要であることが共有された。

③ 児童発達支援ネットワーク WG

主な議題は「送迎体制」と「外部機関との連携」。

【送迎に関する課題】

○送迎時間の増大による療育時間の減少

○学校教育と療育の位置づけ整理の必要性

○事業所ごとの対応差への問題提起

○原則を定めたいうえでの個別対応の必要性

【外部機関との連携】

○病院や作業療法士との連携強化

○情報共有体制の整備

児童分野における地域連携の在り方について、継続的に検討していくことが確認されました。

(5) その他

3. 閉会